



 GS 連続シンポジウム 2007

まちづくりへのブレイクスルー 水辺を市民の手に取り戻す

第2回「鍬もって、都市公園をみんなの庭に - 豊田・見ノ口公園」

12月15日(土) 15:00-18:20 / 東京大学工学部1号館15号教室

入場料：一般 / 1000円 学生 / 無料

<http://www.groundscape.jp/>

主催 / GS デザイン会議 後援 / 土木学会 景観・デザイン委員会

サポート / (株)アトリエ74 建築都市計画研究所、(株)アール・アイ・イー、(有) eau、伊藤鉄工(株)、(株) INAX、(株)オオバ、(有)小野寺康都市設計事務所、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)建設技術センター
(株)コトブキ、(株)GK 設計、清水建設(株)、(株)住軽日軽エンジニアリング、大成建設(株)、(株)竹中工務店、(株)長大、東京コンサルタンツ(株)、戸田建設(株)、(株)内藤廣建築設計事務所、(株)日建設シビル
日本工営(株)、日本電気硝子(株)、プロトフォルム、(株)文化財保存計画協会、前田建設工業(株)、三井不動産(株)、ヨシモトホール(株)、(株)ワークヴィジョンズ

まちづくりへの ブレイクスルー

GS 連続シンポジウム 2007



GROUNDSCAPE DESIGN INSTITUTE

水辺を市民の 手に取り戻す

しています。これまでに実現した良い事例は、いわばそれらと悪戦苦闘してきた証であり、そこには今後に通じる知恵が数多くあるはずです。こうした知恵の共有化はまちづくりに携わる人間にとって重要な課題であり、GS デザイン会議は、各地で孤軍奮闘している行政担当者や実務設計者、市民への情報を発信するべく連続シンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、現実の壁を乗り越えたデザイン事例の過程に焦点を当てます。まちづくりの現場の問題に対する本音の話を引き出し、どのような人がどのような役割を果たし、最終的にどのような空間に結実したのかを手がかりにし、今後のデザイン戦略を議論します。第二回は豊田市の児ノ口公園の試みから、まちづくりと公園のあり方を問います。

写真 1

写真 2

写真 3

プログラム

写真 4

写真 5



写真 1：秋祭りでの稲刈りの様子
写真 2：民家のような管理棟
写真 3：広場からバイパス方向
写真 4：事業着手前の公園
写真 5：五六川再生の工事途中

計画

登壇者略歴

成瀬 順次

児ノ口公園管理協会 事務局長
1946 年生まれ。通称「山屋のジュンちゃん」。家業の雑貨屋「山屋」経営のかたわら、豊田市竹生町商店街理事長を務めるなど地元の発展に尽力。1995 年の児ノ口公園愛護会発足時から現在まで事務局長。住民説明会の際に、地元の年寄り連中とともに賛成派のリーダーシップ的役割を果たす。定期的にイベントをおこない続ける児ノ口公園管理協会のリーダーの一人。

計画

内藤 廣

東京大学大学院 教授
1950 年生まれ。早稲田大学大学院建築学専攻修了。フェルナンド・イゲラス建築設計事務所、菊竹清訓建築設計事務所勤務を経て、1981 年内藤建築設計事務所設立、2003 年より現職。設計作品に、海の博物館（日本建築学会賞）、牧野富太郎記念館（毎日芸術賞、土木学会デザイン賞最優秀賞）、苫田ダム管理庁舎、鳥根県芸術文化センター、JR 日向市駅など多数。

備をきっかけとするまちづくりに取り組む。矢作川漁業協同組合の理事でもあり、児ノ口公園のキーパーソン。

参加申込方法 / WEB サイト <http://www.groundscape.jp/sympo/071215/> の応募フォームからお申込みいただくか、会員（個人・サポート・ユース）／非会員・氏名（ふりがな）・所属（会社名または学校名）・連絡先（メールアドレスまたは電話番号）・シンポジウム参加申込み人数・懇親会参加申込み人数をご記入の上、ファックスにて GS デザイン会議事務局までお送りください。尚、定員になり次第締め切らせていただきます。

問い合わせ先 / GS デザイン会議事務局
電話：03-5805-5578 / FAX: 03-5805-5579
Web: <http://www.groundscape.jp> E-mail: info@groundscape.jp

